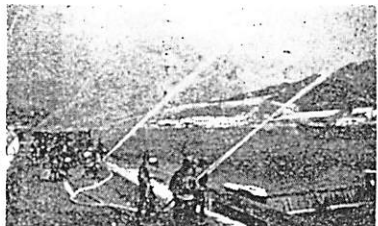


昭和42年消防出初式

偉容を示した消防団

新春を飾る、昭和42年徳地町消防団の出初式は、1月5日舉行せられ、ますます充実整備された偉容を見せ10時に地中學校出陣したパレードは、消防自動車(3台)を先頭に、町内6分団約350名が堂々と行進、役場前で祝賀を受け佐波川(庄方)で放水訓練を行い、ことしも防災に挺身することの誓いを新たにしました。

※ ※ 近頃、暖房器具や台所用品に石油やガスを燃料とするものが普及していますが、正しい器具の使い方、正しい火の管理を知り、私たちの生命、財産を守るように、町民一人一人が注意しましょう。



放水訓練

表彰に輝く人々 一敬称略＝橋(町道)の焼失を未然に防止した善行によるもの 二の宮 栗橋公司

退職消防団員 八坂分団 上野了 40年間消防に従事、その使命につくし消防団員の範となりまた分団長として規律の厳正と技能の熟達に努めた功績によるもの

死亡消防団員 出雲分団 大林時一 32年間にわたり消防業務に精励し平素よく率先垂範してその使命につくした功績によるもの

勤労消防団員 25年 出雲3名、八坂1名、柚野2名 20年、出雲6名、八坂2名、島地9名、串2名、柚野5名 15年、出雲1名、八坂1名、島地7名、串2名、柚野5名

現有消防力 消防自動車3台 小型動力ポンプ 26台 団長1名 副団長2名 団員、出雲分団 110名、八坂分団 110名、島地分団 105名、柚野分団65名、串分団55名、役場分団20名



写真は、農業改良普及所長講演

41年米作 研究発表大会 及び 反省検討会

前進する米づくり

去る12月16日午前9時より中央公民館において41年米作研究発表大会と反省検討会が催され、300名参加、増産意欲に燃えた研究発表は、多数の参加者に少なからぬ感銘をあたえ、同時に徳地の米づくりと題して徳地農業改良普及所長のお話のたゆみない前進ぶりがうかがわれた。 一敬称略＝ 発表者及び課題 稲 河野只一 兼業農家の米作り経営 私の米作り経営について 上村 井原 敏 品種比較試験田を担当して 堀 深谷 龍河内 斎藤静江 観察はを担当して 全 深谷 富田晋代 堀 井本道夫 全 伊賀地 宇佐川武勇 全 岸見 山本民一 水田の高度利用経営について 全 船路 竹内宗義 全 スピードスプレーによる 斎藤征士 共同防除を実施して 上村 松田静一 部落米作近代化推進組合の運営計画について 全 深谷 富田鉄夫 上村 松村代吉 農繁期の共同炊事を実施して 八坂 末永ツツ子

「米づくりは耕土培養事業から(次号)」

写真は、大会々場



三学期を迎えた 子どもの指導 三学期は小学校、中学校、高等学校とも各学年のしめくくりと仕上げをするたいせいな時期です。とくに中学校と高等学校の最終学年の生徒は、進学や就職問題など、家庭の心配もひととおりではありませんが、あたらないたわりの心で指導したり、相談にのることがたいせいです。 ことこの個人差、地域差、家庭の状況などから一概にはいえませんが、一般的な注意を申しますと、 ①小学校最後の学期としてまとめや整理に留意し、進級、進学心がまえを育てよう。 ②中学校の心身の発達が著しく、動揺の激しい時期で、卒業前の三年生では進学や就職の試験準備で過重な負担をかけないことである。 ③高等学校二年生がすすみ、理性や自性がかなりついているので、この点を助長して自理性を高めていくよう気を配りましょう。いつも動静を見守り話しあいつつ助言することを忘れてはなりません。 インフルエンザの 見とおしと、その予防 この冬から春にかけてかなりの流行があるのを予想されるのでその予防には、 一、感染性対策として、流行前にワクチンの接種 二、感染経路の対策として、マスク、ウガイの励行、多人数



No. 127 昭和42年1月15日 毎月1日・15日発行 発行所 徳地町役場 発行 徳地町 編集者 桑原輝夫 印刷所 今澄印刷所

納期限 町・県民税 (4期) 固定資産税 (4期) 1月31日限

一月二十九日執行 衆議院議員選挙

最高裁判所裁判官国民審査 一人残らず投票を

来る1月29日衆議院議員の総選挙が行なわれることになりました。同時に、最高裁判所裁判官国民審査も併せて行なわれます。 みんなの自覚で、明るく正しい選挙を 選挙こそ政治のよしあしを決めるものです、自分の権利である選挙権は、自分自身の自由意志で、清く正しく使い、善理や人情にとらわれることなく、国民のためを思う誠意と情熱のある信頼できる人を選ぶように心がけ一人残らず投票に行き、明るく正しい政治のもとを築きましょう。



「清い票、積ってよい国、よい政治」と呼びかける徳地町役場のたれ幕

不在者投票

衆議院議員選挙 期間、自1月8日 午前8時30分より 至1月28日 午後5時まで 場所、町役場及び各支所 最高裁判所裁判官国民審査 期間、自1月19日 午前8時30分より 至1月28日 午後5時まで 場所、町役場及び各支所

不在者投票について 不在者投票の制度は、いろいろな事情で投票日に決められた投票所で投票をすることができないのに対して、つきのような事由がある選挙人に対してのみ不在者投票を許しています。 一、選挙人がその属する投票区にある市町村の区域外(選挙に関係のある職務に従事する者に区域外)において職務又は業務に従事中であるべきこと。 二、選挙人がやむを得ない用務又は事故のため、その属する投票区のある市町村の区域外に旅行中又は滞在中であるべきこと。 三、選挙人が疾病、負傷、妊娠、不具若しくは産前であるため歩行が著しく困難であるべきこと。 不在者投票の手続 一、不在者投票事由に該当する旨の証明書を提出しなければ投票することができません。 二、証明書の発行はそれぞれ不在事由の区分に従って定められており、また若し町選管事務局又は支所の選管事務担当者に問い下さい。

立会演説会 衆議院議員候補者の立会演説会が 1月24日午後1時30分より、中央公民館で開かれます。多数ご来聴下さい。

「歳末たすけあい運動」

社協だより

あたたかい、ご協力ありがとうございました。

12月1日から1ヶ月間実施された「歳末たすけあい運動」には町民の皆様のおかげで現金が64,777円に達し、その他、米、豆などよい成績を収めることが出来ましたことを厚くお礼申し上げます。この配分は、配分委員会を開き次のように行いましたのでご報告いたします。

社協では、歳末たすけあいの「福米」を餅にし、例年のおと秋楽園(旧秋穂養老院)及び児童施設海北園(右田)等をそれぞれ慰問「あん餅」を贈りました。また、有倫館学園(野谷)では、紅白の餅を秋楽園におくられました。

歳末たすけあい運動のまとめ

Table with 7 columns: 出雲島地串八坂柚野計. Rows include 白米, 玄米, もみ, 大豆, その他, 小米, 現金.

Table with 7 columns: 出雲島地串八坂柚野計. Rows include 配分した世帯数, 全上人員.

上記371名の内、児童福祉施設へ収容の児童及び社会福祉施設へ入所並に結核、精神病、その他の疾病で長期入院(入所)者数 光林園4、若草園1、陽光園1、海北園1、松光園1、城南学園2、このみ園3、防府病院10、吉南病院7、徳山精神病院3、防府保健院3、村田博愛病院2、第一病院1、済生会病院2、救護所1、徳山救護所1、三田島病院8、県立中央病院8、清風荘1、湯田保養所2、日赤1、柳井療養所1、防府病院2、徳山中央病院1、鴻城病院1、宇部医大1、長島愛生園1、秋楽園21、阿東老人ホーム1



写真は、有倫館学園のもちつき



写真は、社協のもちつき

善意銀行

- 1,000円 藤尾 糸種品人
これは、ある仕事のことでお世話になりました
500円 下庄 村田 允
これは、1年間の買物等のつり銭の1円を集められ、社会福祉のために
10,000円 徳地町ライオンズクラブ
これは、町内の社会福祉事業へ
500円 西村 殷辺誠一
これは、拾得物のお礼として現物をいただいたので、現金に換り社会福祉へ使ってください
5,500円 徳地町連合青年団
歳末たすけあいの一部として
1,500円 山口銀行期支店長 河村一郎
これは、町より報酬をいただいたので、これを社会福祉事業の一助として
1,000円 佐政高等学校 家庭クラブ
これは、歳末たすけあいの一部として
以上、善意銀行金品口座に預託いたしましたので厚くお礼申し上げます。
払出につきましては委員会を開き有効に使用させていただきます。
徳地町社会福祉協議会長

町営土地改良事業 などきまる

40年度決算・41年度補正予算
及び町税条例改正も

第四回定例町議会は、12月15日から22日まで8日間の会期で開き、議案6件慎重審議の結果いづれも原案どおり可決しました。

この議会で決定した議案は次のとおりです。

- 一、徳地町税条例の一部を改正する条例について
これは、退職所得に対する町民税の課税方式が、昭和42年1月1日から変わるので税条例を改正したものです。
二、町営土地改良事業の施行について
これは、土地改良法にもとづき昭和41年度に行う事業で施行場所は、次のとおりです
水路、上河内(船路)、台井手(八坂)、開原(堀)、上清水(堀)、横敷(堀)、中屋(鶴河内)、南中角(鶴河内)、橋の木(鶴河内)
農道、小対(柚木)、宮河内(野谷)、北谷(野谷)、宮野(野谷)、上の原(柚木)、台山(船路)
三、昭和41年度一般会計、特別会計補正予算について
一般会計、歳入歳入予算に、それぞれ1千6百52万円を追加
3億4千7百88万円に
その主なものは、歳出では総務管理費661万円、農林水産業費の254万円、土木費の353万円、教育費の237万円
災害復旧費の677万円がある
一方、歳入面では、町税115万円(固定資産税35万円、地方交付税80万円)
四、昭和40年度決算の認定について
議会に於いて、監査委員(田立正二氏、高橋吉良氏)の決算審査意見書を受けた後、慎重に審査の結果、異議なく次のとおり決算の認定がなされた。
一般会計認定額
歳入3億1千5百70万円
歳出2億8千8百84万円
六、町道補修について
船路東代表者(戸田岸重彦氏、井原英夫氏、原 勇氏)
一、訂正の、お知らせ
1日発行3頁の選挙人名簿登録者数のうち投票区別の「串」の誤りにつき訂正します。
二、第126号(昭和42年1月1日発行)4頁の共有山林の運営についての上から4段目「地区内の申し合わせは他地区へ嫁出したるは自治会費組合費を納めなかつたか近所つきあいが悪いとか道作りになかつたとかを理由に権利を失う」とあるは「租入り費」の誤りにつき訂正します。
三、重要文化財月輪寺聖師堂の修復工事について
四、公民館の建設、水路の補修拡張、林道の補修などについて
五、畑中学校の完全給食実施について
六、畑中学校の完全給食実施について
七、畑中学校の完全給食実施について
八、畑中学校の完全給食実施について
九、畑中学校の完全給食実施について
十、畑中学校の完全給食実施について

第四回定例町議会

- が室内に密集することをさける
三、感染源の対峙として
患者を一週間隔離すること
(学校では患者が学童の10%を越えたとき休校しているが少し遅い)
とくに感染率の高い幼児と老人、学童、生徒及び連輪、通信、公共サービス業に働く者は、注意しましょう。
健康所予防情報による
バラ色クイズ (第六回)
出題 民生委員は、□□的なこと
については、固く□□を守り
実情に応じて適切な□□援助
など、その悩みの□□に
ついてくれます。
◎応募方法 □□の中に、適当な
文字をいれて正しい文にするこ
と。
◎送り先、役場文書広報係
◎しめくり
2月15日発行広報紙上
◎賞 正解者5名に、粗品をさし
あげます。正解者多数の場合は
抽せんとする。
◎第一二五号(11月15日発行)は
正解者多数により抽せんの結果
左記5名をさめます。
◎第五回の正解文は
第一二四号(12月1日発行)の
2ページに掲載